

ジュニアリーダー (JL) は子ども会のリーダーです。

子どもたちと大人 (育成者) のパイプ役です。

子どもたちの意見をまとめ、大人に伝えます。

子どもたちの相談にのります。

子どもたちのやりたい遊びをいっしょに企画します。

子どもたちの遊びを援助します。

子どもたちのキャンプを援助します。

子どもたちの歌やゲームの指導ができます。

子どもたちの活動の安全を考えます。



江東区のジュニアリーダー講習会について

江東区は、子ども会のリーダーを育てるために地域の子ども会育成者、青少年委員とともにジュニアリーダー講習会を主催しています。

初級講習会

回数	日程	内容	会場	対象
全6回	8月～1月	レクリエーション講習 キャンプ実習、自然体験 グループ活動など	深川地区：東陽区民館 城東地区：第二大島小学校	小学5年生～ 中学1年生

日程・内容などは直接青少年センターへお問い合わせください。

※初級講習会修了後、中級講習会があります。
※小学校4年生のためにジュニアリーダー体験会を実施しています。



子ども会をつくろう 平成18年3月31日 初版
平成23年11月4日 第7版
印刷物企画表第2類 印刷番号(23)26号

発行・編集

江東区青少年センター

〒136-0071 江東区亀戸7-41-16
TEL.03-3681-7334 FAX.03-3681-8732
E-mail : 5521620@city.koto.lg.jp

まちが育てる。

まちで育てる。

まちを育てる。



子ども会
つくろう!! はいろう!!

「こどもによる、こどものための子ども会」づくりを支援しよう!!

今、こどもたちは豊かな社会に生きています。家では個室を持ち、遊びといえばゲームやパソコンなど一人遊びが多く、息を切らして友達と外で遊ぶ時間は少なくなっているのが現状でしょう。こどもたちの体力の低下や仲間づくり、自己表現が苦手といわれる背景にはそうした現状に一因があるのかもしれない。

こどもたちには「みんなでいることの楽しさと緊張感」「みんなと考えるおもしろさと葛藤」「一緒に作り上げるプロセス」など、一人ではできない経験をすることが大切です。そのためには、こどもたちのために、仲間と一緒に楽しめる時間・場などを提供できる大人の存在が必要です。

大人たちの援助の手を借りながら、継続的に意図的に営むあそびの場のひとつが「子ども会」といえます。これは、「こどもによる、こどものための子ども会」づくりを支援しようという大人の方に向けたパンフレットです。

子ども会をつくる 子ども会を発足させるには次のような手順で行うことが望ましいでしょう。

STEP 1 発足準備の仲間をつのります。思いの通じるこどもたちや親と一緒に準備会をつくり、ジュニアリーダーの参加を求めましょう。

STEP 2 話し合います。どんなことをしたいのか。子ども会の名前、メンバーの学年範囲、お金のこと、年間のおおよその行事計画、会場などを決めます。

STEP 3 自分達の企画に賛同してくれるこどもや親を募集します。そのための文書(ちらし)を作成・配布します。図書館や出張所、地域の掲示板などで募集できることもあります。相談してみましょう。また、地域の町会や自治会、学校、PTA、江東区少年団体連絡協議会、青少年センターにもお知らせしておくといでしょう。

STEP 4 メンバーが集まったら、行事の計画や役割を決めます。役割は会長・会計・広報などです。こどもの会と大人の会を別にしてつくり、

STEP 5 準備会を開いてあらかじめ作っておいた計画について意見を求め、訂正・変更して、いよいよ発足です。

STEP 6 活動の充実と子ども会同士の連携を深めるため、ぜひ各地区の「子ども会連合会」に加盟しましょう。

子ども会名							
会 長							合 計
副 会 長							人
書 記							
班 名	班 長 名						
	班 員 数	人					
会 員 数	所 属	小 学 生	中 学 生	高 校 生	育 成 者		
	男	人	人	人	人		
	女	人	人	人	人		
	計	人	人	人	人		

育成会名			
事 務 所			
代 表 者			
事 務 担 当 者			
会 長	会 計		
副 会 長	会 計 監 査		
書 記			
指 導 者 名	住 所	TEL	
ジュニアリーダー名	住 所	TEL	

子ども会をつくるメリット

以下の施設を利用する際に使用料の免除または減額を受けられます。

- 区立の学校施設 免除
- 青少年センター 無料
- 教育センター 2分の1の減額
- 区民館 2分の1の減額
- 総合区民センター 4分の1の減額 (代表者印が必要)

子ども会にはいるには

江東区に転入された方など、ぜひ地域の子ども会へご加入下さい。楽しい行事やイベントがいっぱいです。

まずは、各地区の子ども会連合会へお問い合わせ下さい。

各地区の子ども会連合会

- 東陽連合会 (山村喜芳 東陽 5-4-13 3646-7218)
- 西部連合会 (阿部光城 森下 4-22-9 090-1614-7268)
- 南部連合会 (岡部丈太郎 古石場 3-6-4 3643-9252)
- 北部連合会 (永見文理 千石 1-4-13 5606-0159)
- 江南連合会 (櫻井信二郎 枝川 2-1-13-812 3647-7764)
- 亀戸連合会 (齊藤庸一 亀戸 6-55-18 グローブ 801 3637-3282)
- 大島連合会 (上村光男 大島 5-26-5 3682-1296)
- 砂南連合会 (佐藤昌信 東砂 8-2-11 3646-0753)
- 砂北連合会 (菅間良孝 東砂 1-1-1-419 3644-1171)

事務局所在地 会長宅 (山村 喜芳 東陽 5-4-13)

加盟団体・会員数 92 団体 18, 246 人 (平成 27 年 10 月 30 日現在)

設立年 昭和 39 年

経緯 江東区では、深川地区には早くから「深少連」という有志子ども会を中心とした連合体がありましたが、城東地区は学校子ども会が中心で、有志子ども会の数も少なく、地域連合化が遅れていました。昭和 38 年頃から区内少年団体の連合会結成の機運が高まり、昭和 39 年 3 月 7 日「江東区少年団体連絡協議会(江少連)」が結成されました。

目的・方針 江東区内の単位子ども会の連絡調整を図り、各団体の特異性を考慮して、それぞれの団体の向上・発展と親睦・協調を図ることを目的としています。

